

1) テーマ かわいい子には旅させろ。かわいい子は旅をしよう！

～瀬戸内・島プロジェクト～

2) カテゴリー ②教育内容

3) 学校概要 学校名：ポラリス保健看護学院 所在地：福島県郡山市向河原町
課程名：統合カリキュラム 定員：各学年 40 名 就業年限：4 年間

当学院では「学生が自己の課題や他者と向き合いながら成長する過程と人間関係づくりを重んじ、人や地域との関わりを通じた豊かな人間性の形成を支援することが何よりも大切である」と教育理念の中で述べている通り、学生自らが企画運営を行う学校行事や宿泊研修を科目外に多く取り入れています。

令和 5 年に入り感染症対策の緩和が国の方針として決定したことが後押しとなり、国内の離島で長期宿泊研修を実施することになり、令和 5 年度 3 月末に 4 泊 5 日で、福島県から遠く離れた瀬戸内の離島で宿泊研修を実施しました。

対象は 4 年に進級するクラスの希望者で 33 名。ミッションは、「クラス全員が、安全で学びが有り楽しめる離島研修を、自分たちで作上げる」というものでした。教員が最初に伝えた内容は、以下の通りです。研修初日と最終日は遠距離の移動日になること、2 日目は施設見学研修として島の基幹病院見学と福祉施設見学という 2 つの要素が決まっている（何をどう学びたいかは学生が相手先に提案する）。3 日目は 1 日間の島内の地区踏査にあてるよう指示し、4 日目はフリーの観光日としました。宿泊先と交通手段の確保は教員が行いましたが、島での生活や感染予防を含めた安全管理等のマネジメントは学生が全て運営するように指導しました。学生の成長を促す取り組みというわけです。

準備期間は約 3 か月間しかない状況でしたが、学生達は必要にせまられ主体的に連携し、準備を勧めました。そしてその結果、大きなトラブルが起こることも無く、離島の暮らしや、保健・医療・福祉について学び、とても有意義な研修が実現したのです。島での最後の夜、頑張った学生への労いを引率教員から伝えるだけでは足りない！ということで、福島県にいる教員達と空間を超えて Zoom でつながり、学生達への教員の思いを伝える場面もありました。

研修中に出会う島の人々の温かな気持ちを多く受け取り、交流し、本当に生き生きと学ぶ様子を教員は目の当たりにし、この研修の経験が学生にもたらしたものの大きさと、学生が元々持っていた自ら成長する力の素晴らしさを実感することができました。

「学校から何百キロも離れた島に行き、島の保健・医療・福祉を自分達で学んで来い！」という無茶振りは、看護学校では中々出来ない事だと思います。しかし「かわいい子には旅させろ。」で、学生の力を信じて、それをやってのける当学院の無茶振り力と、「かわいい子は旅をしよう！」とそれに対応するエネルギーな当学院の学生達が、「学校自慢」です！

